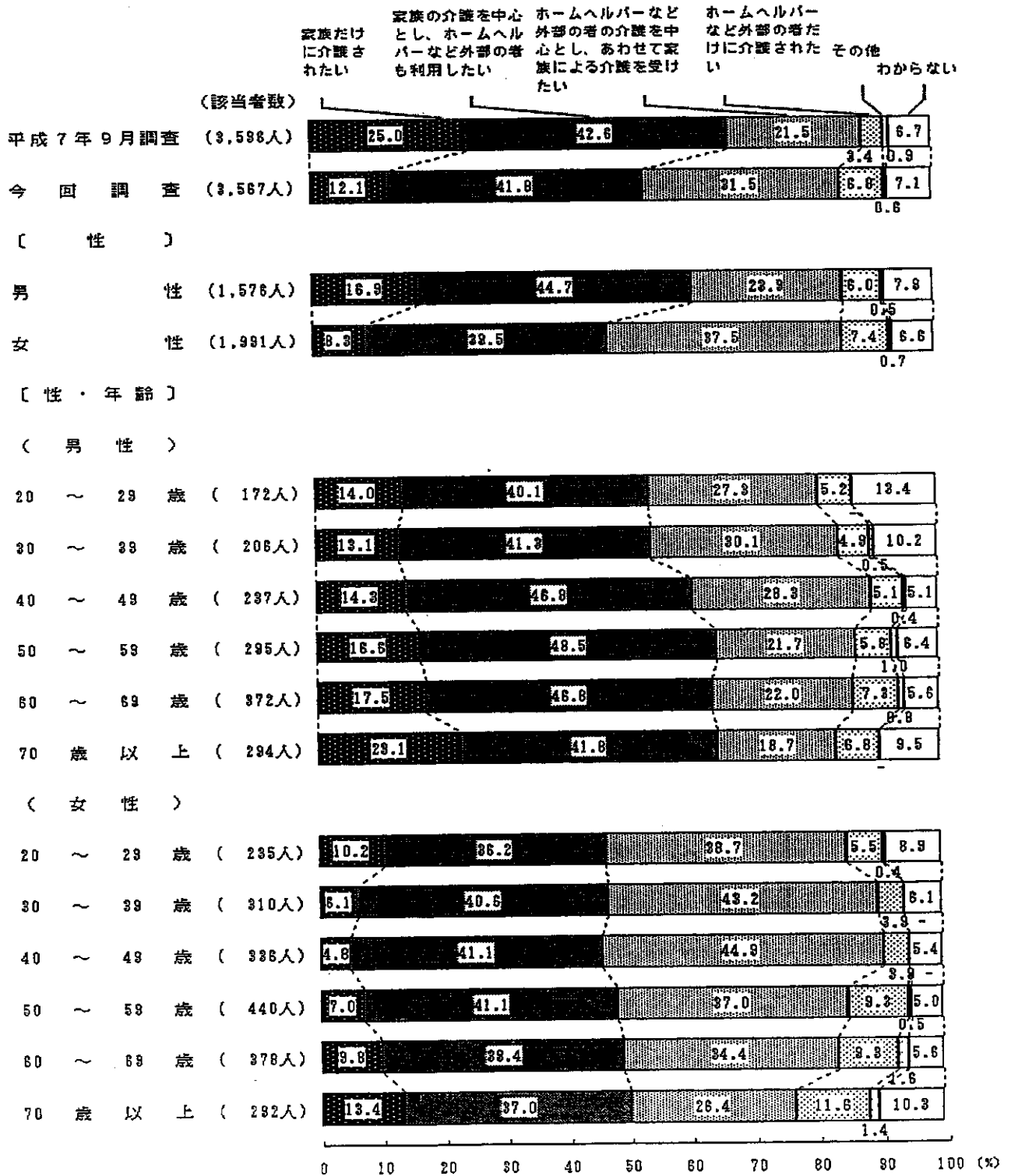


(2) 望ましい在宅での介護形態

	平成7年9月	→	平成15年7月
・家族だけに介護されたい	25.0%		12.1% (減)
・家族の介護を中心とし、ホームヘルパーなど外部の者も利用したい	42.6%		41.8%
・ホームヘルパーなど外部の者の介護を中心とし、あわせて家族による介護を受けたい	21.5%		31.5% (増)
・ホームヘルパーなど外部の者だけに介護されたい	3.4%		6.8% (増)

図11 望ましい在宅での介護形態

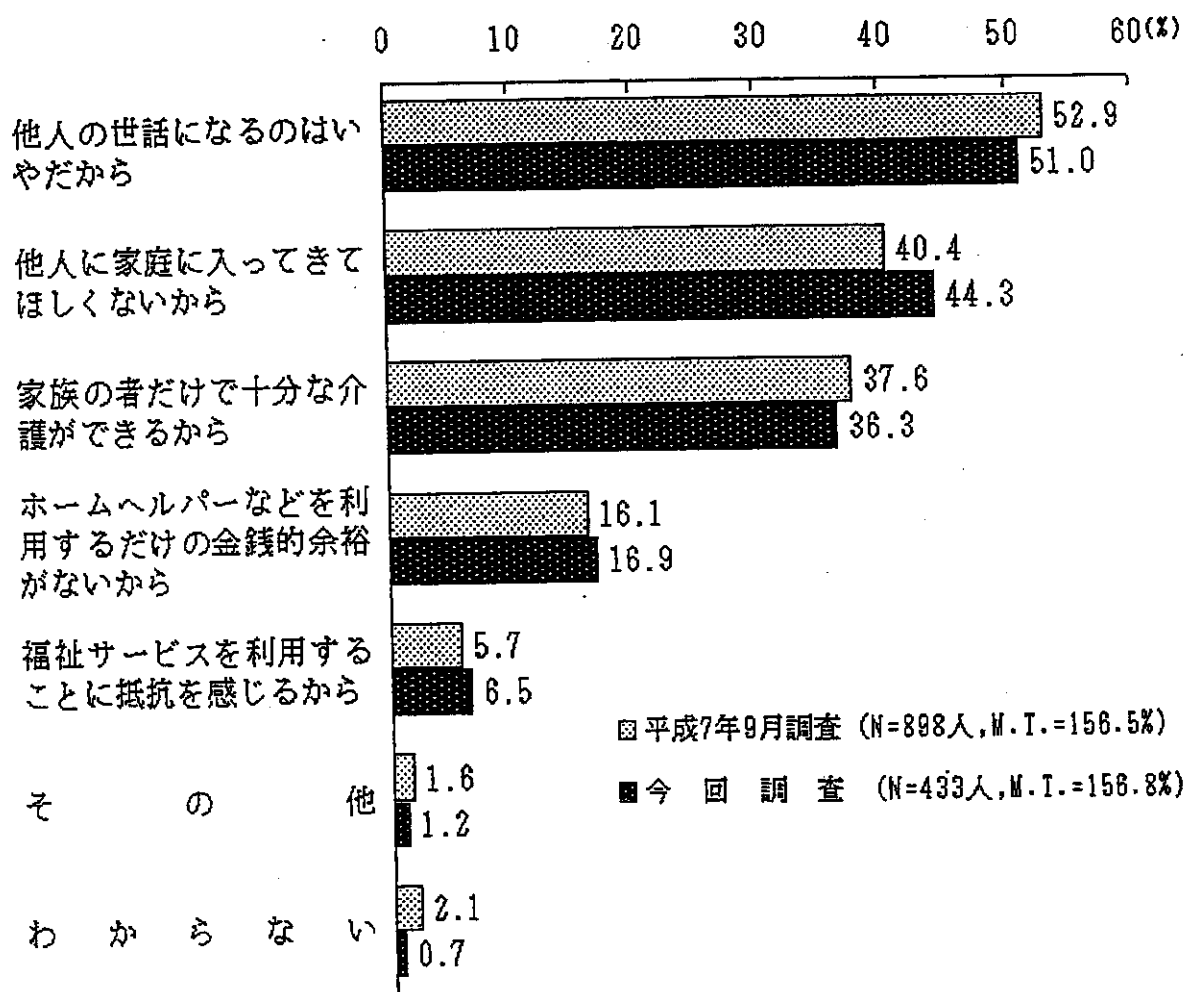


ア 家族だけに介護を望む理由（「家族だけに介護されたい」と答えた者（433人））（2つまでの複数回答，上位4項目）

	平成7年9月		平成15年7月
・他人の世話になるのはいやだから	52.9%	→	51.0%
・他人に家庭に入ってきてほしくないから	40.4%	→	44.3%
・家族の者だけで十分な介護ができるから	37.6%	→	36.3%
・ホームヘルパーなどを利用するだけの金銭的余裕がないから	16.1%	→	16.9%

図12 家族だけに介護を望む理由

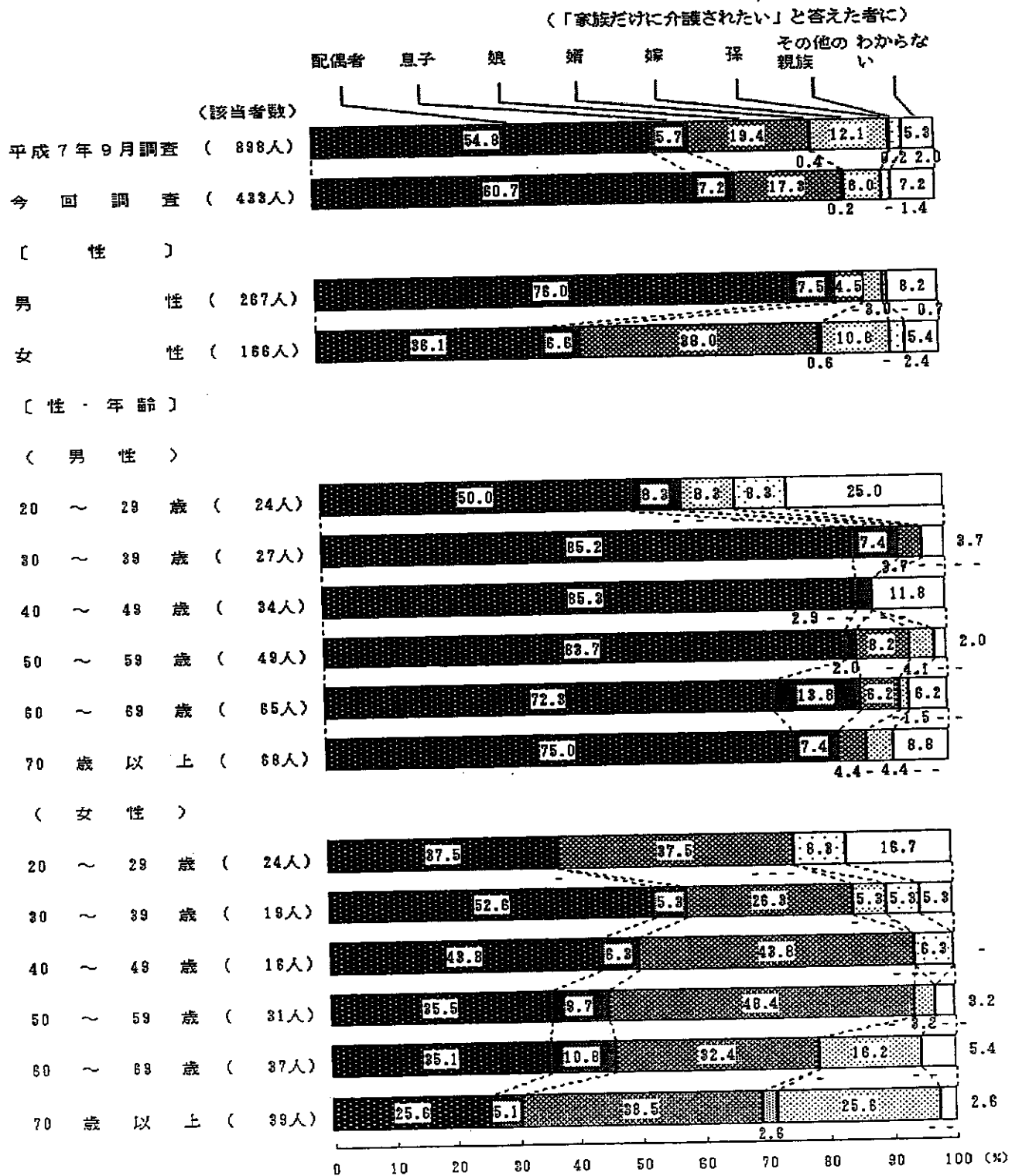
（「家族だけに介護されたい」と答えた者に，複数回答）



イ 家族の中では誰に介護を望むか（「家族だけに介護されたい」と答えた者（433人））

	平成7年9月	平成15年7月
・配偶者	54.8%	→ 60.7% (増)
・息子	5.7%	→ 7.2%
・娘	19.4%	→ 17.3%
・婿	0.4%	→ 0.2%
・嫁	12.1%	→ 6.0% (減)
・孫	0.2%	→ -
・その他の親族	2.0%	→ 1.4%

図13 家族の中では誰に介護を望むか

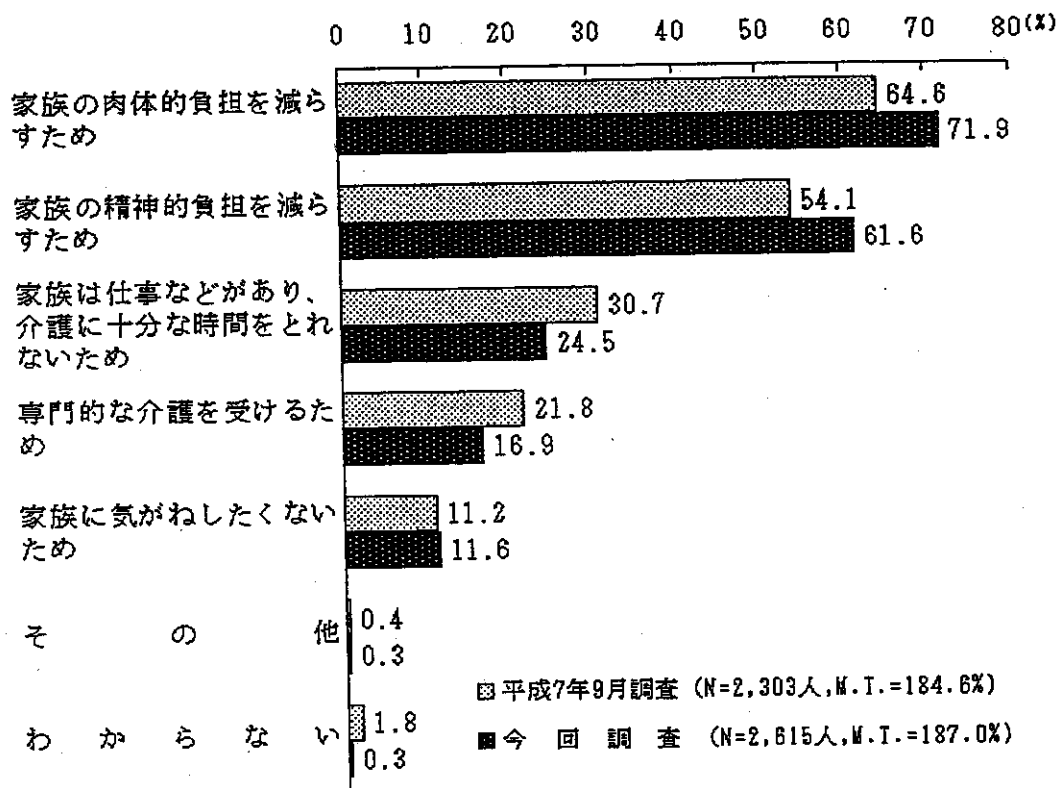


ウ 外部の者も利用したい理由（「家族の介護を中心とし、ホームヘルパーなど外部の者も利用したい」、「ホームヘルパーなど外部の者の介護を中心とし、あわせて家族による介護を受けたい」と答えた者（2,615人）（2つまでの複数回答，上位4項目）

	平成7年9月		平成15年7月
・ 家族の肉体的負担を減らすため	64.6%	→	71.9% (増)
・ 家族の精神的負担を減らすため	54.1%	→	61.6% (増)
・ 家族は仕事などがあり、介護に十分な時間をとれないため	30.7%	→	24.5% (減)
・ 専門的な介護を受けるため	21.8%	→	16.9% (減)

図14 外部の者も利用したい理由

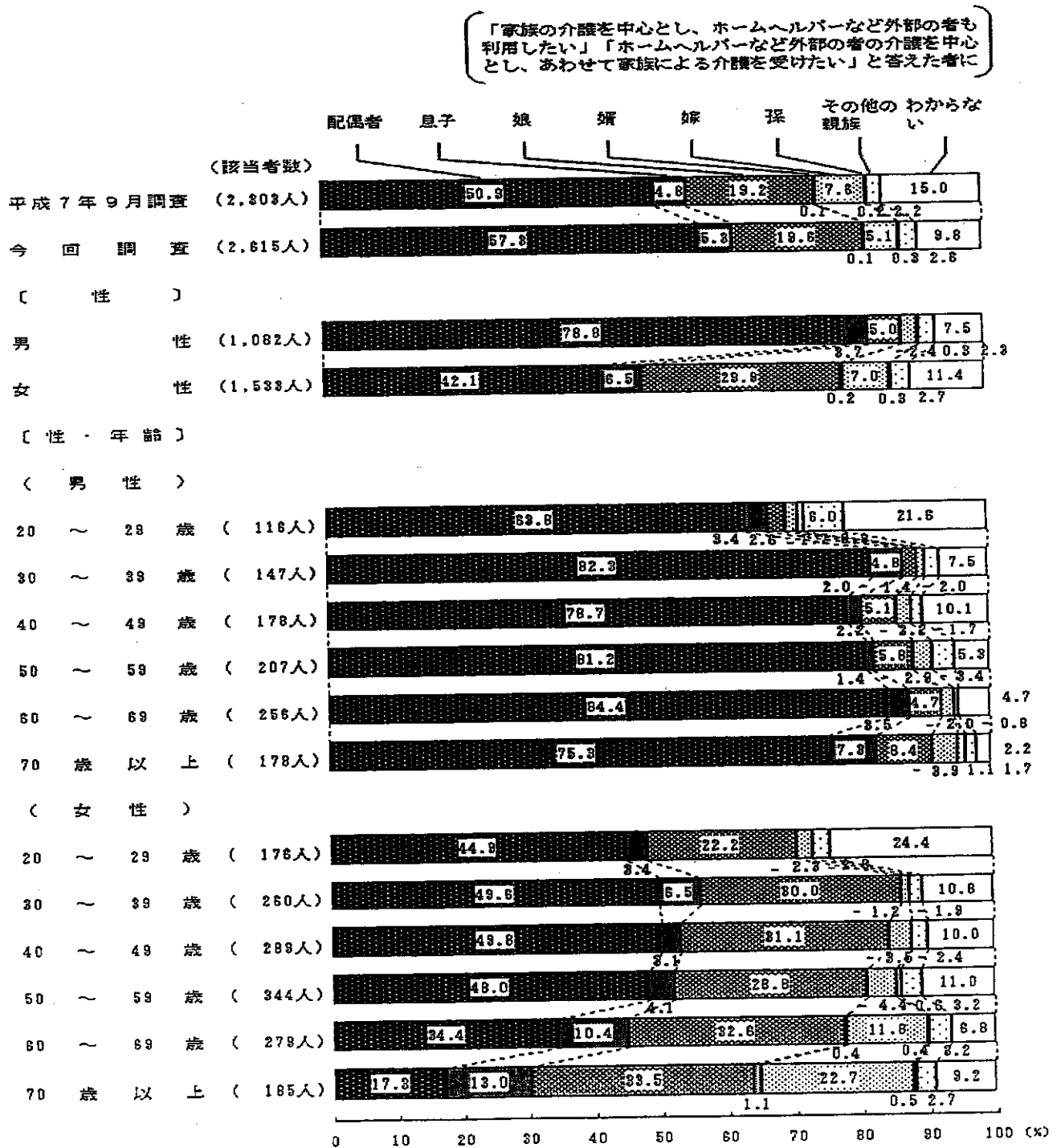
「家族の介護を中心とし、ホームヘルパーなど外部の者も利用したい」「ホームヘルパーなど外部の者の介護を中心とし、あわせて家族による介護を受けたい」と答えた者に、複数回答



エ 家族の中では誰に介護を望むか（「家族の介護を中心とし、ホームヘルパーなど外部の者も利用したい」、「ホームヘルパーなど外部の者の介護を中心とし、あわせて家族による介護を受けたい」と答えた者（2,615人））

	平成7年9月	→	平成15年7月
・配偶者	50.9%		57.3% (増)
・息子	4.8%		5.3%
・娘	19.2%		19.6%
・婿	0.1%		0.1%
・嫁	7.6%		5.1% (減)
・孫	0.2%		0.3%
・その他の親族	2.2%		2.6%

図15 家族の中では誰に介護を望むか

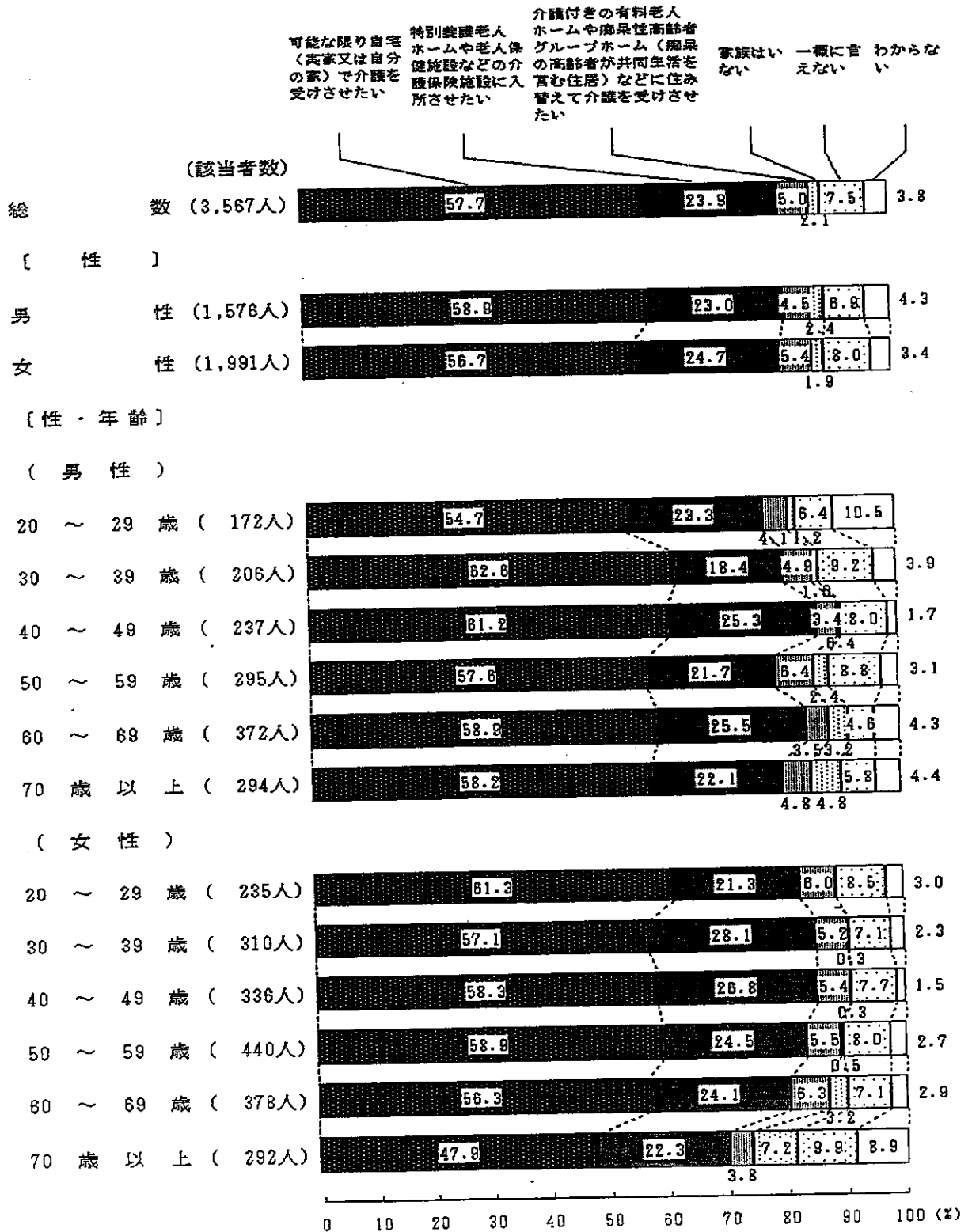


(3) 家族に介護を受けさせたい場所

平成15年7月

- ・可能な限り自宅（実家又は自分の家）で介護を受けさせたい 57.7%
- ・特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所させたい 23.9%
- ・介護付きの有料老人ホームや痴呆性高齢者グループホーム（痴呆の高齢者が共同生活を営む住居）などに住み替えて介護を受けさせたい 5.0%

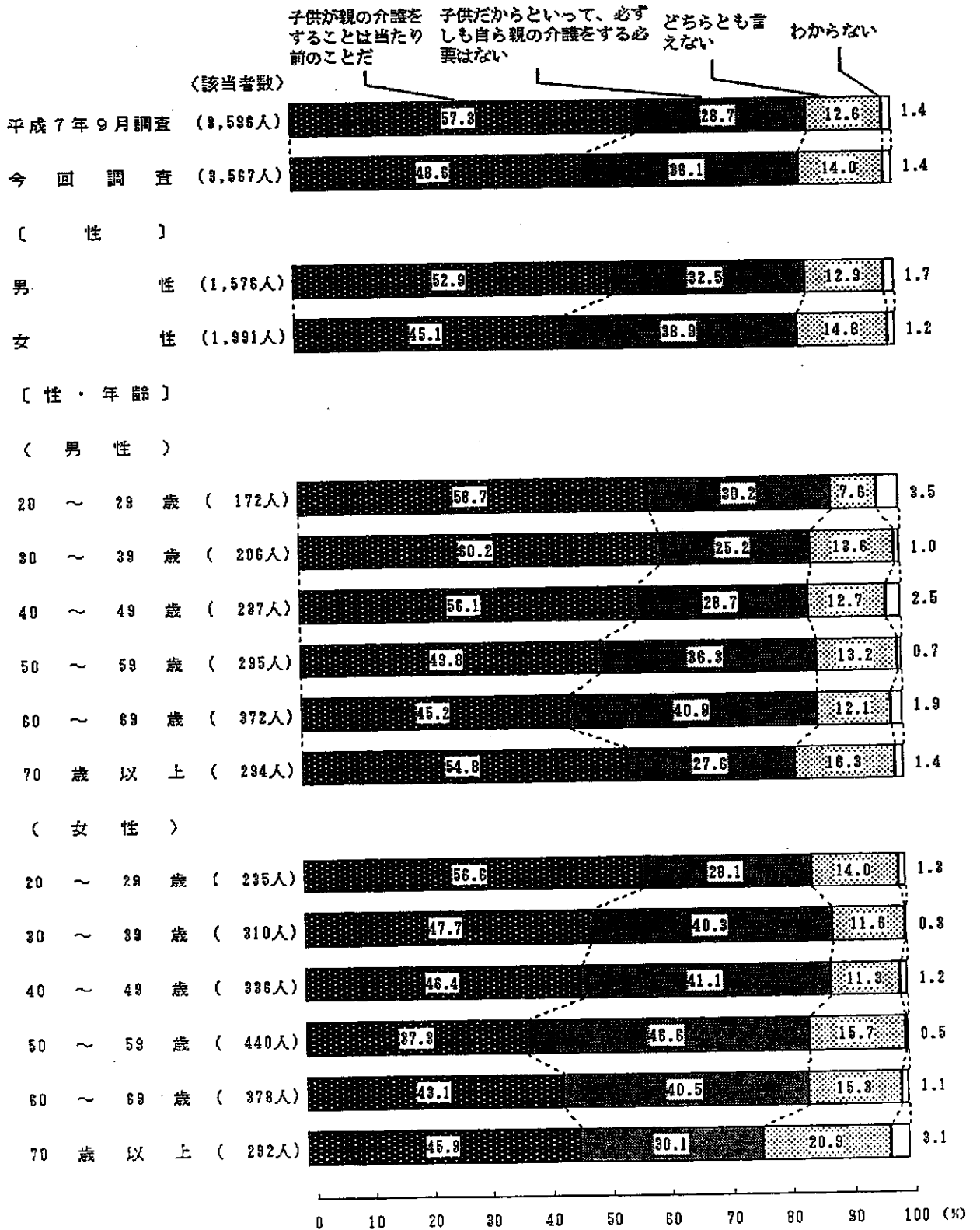
図16 家族に介護を受けさせたい場所



(4) 親の介護を子が自らすべきか

	平成7年9月	→	平成15年7月
・子供が親の介護をすることは当たり前のことだ	57.3%		48.6% (減)
・子供だからといって、必ずしも自ら親の介護をする必要はない	28.7%		36.1% (増)
・どちらとも言えない	12.6%		14.0%

図17 親の介護を子が自らすべきか



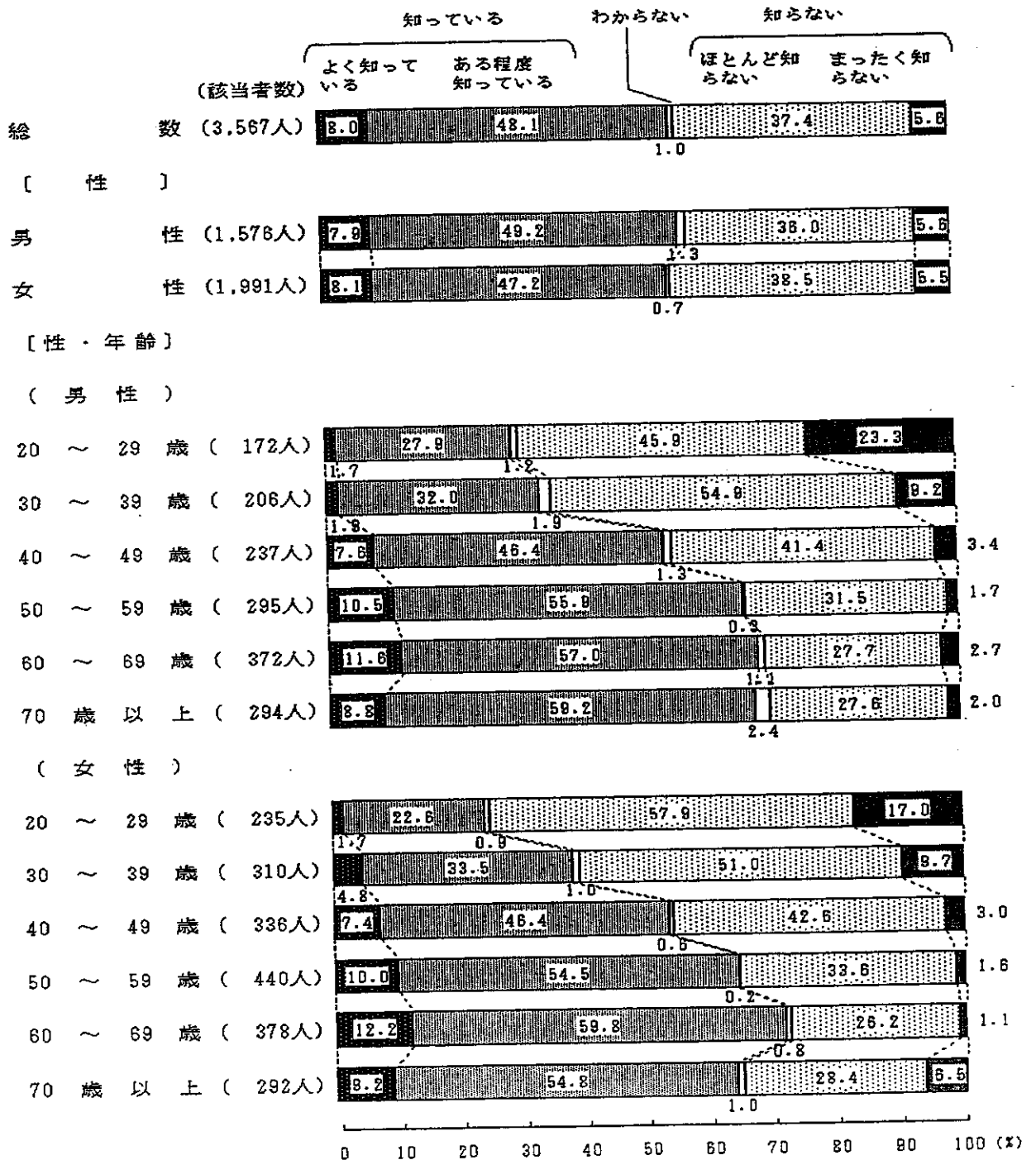
3 介護保険制度等について

(1) 介護保険制度の周知度

平成15年7月

・知っている	56.1%
よく知っている	8.0%
ある程度知っている	48.1%
・知らない	42.9%
ほとんど知らない	37.4%
まったく知らない	5.6%

図18 介護保険制度の周知度



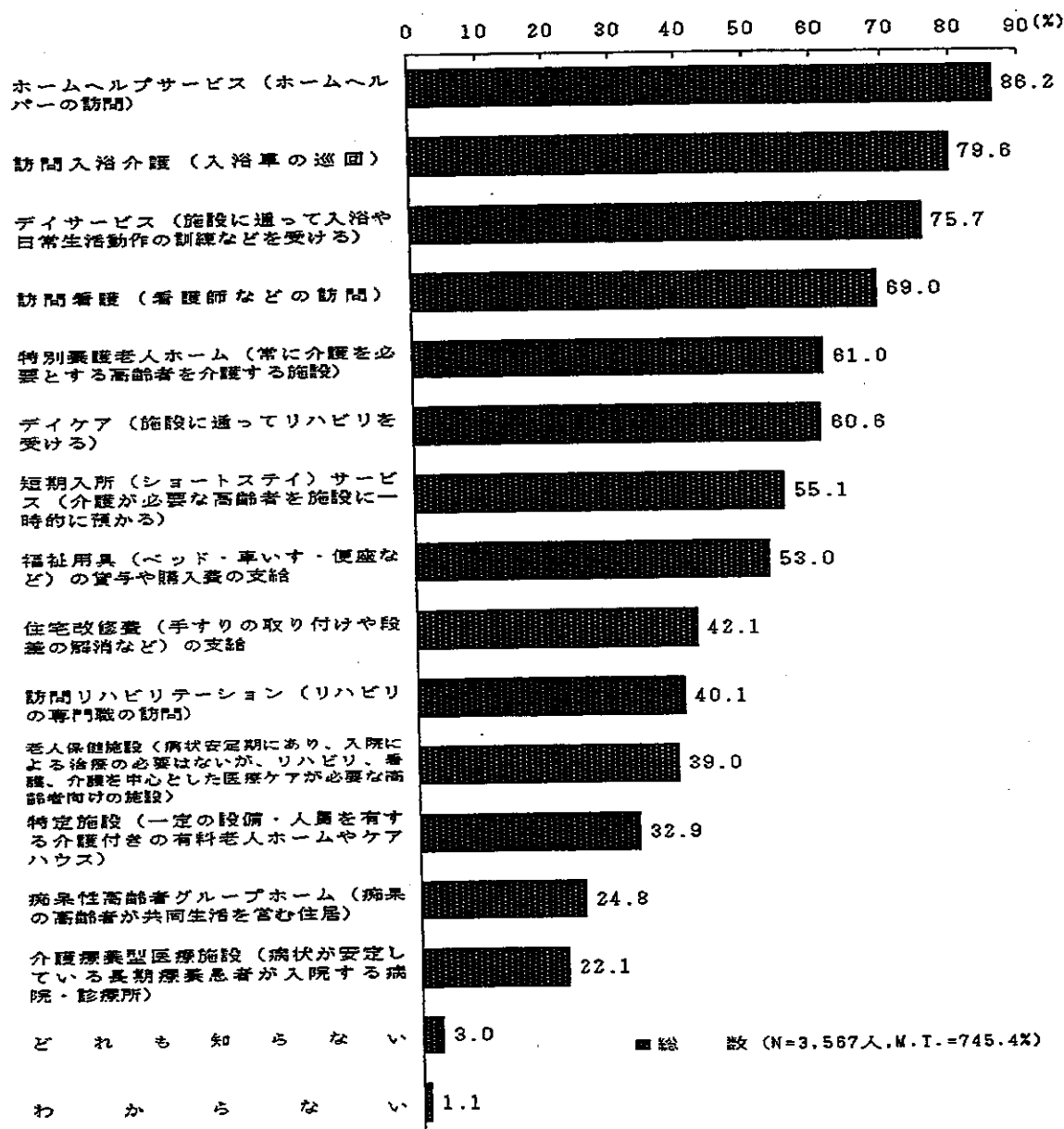
(2) 介護保険サービスの周知度（複数回答，上位4項目）

平成15年7月

- ・ホームヘルプサービス（ホームヘルパーの訪問） 86.2%
- ・訪問入浴介護（入浴車の巡回） 79.6%
- ・デイサービス（施設に通って入浴や日常生活動作の訓練などを受ける） 75.7%
- ・訪問看護（看護師などの訪問） 69.0%

図19 介護保険サービスの周知度

（複数回答）



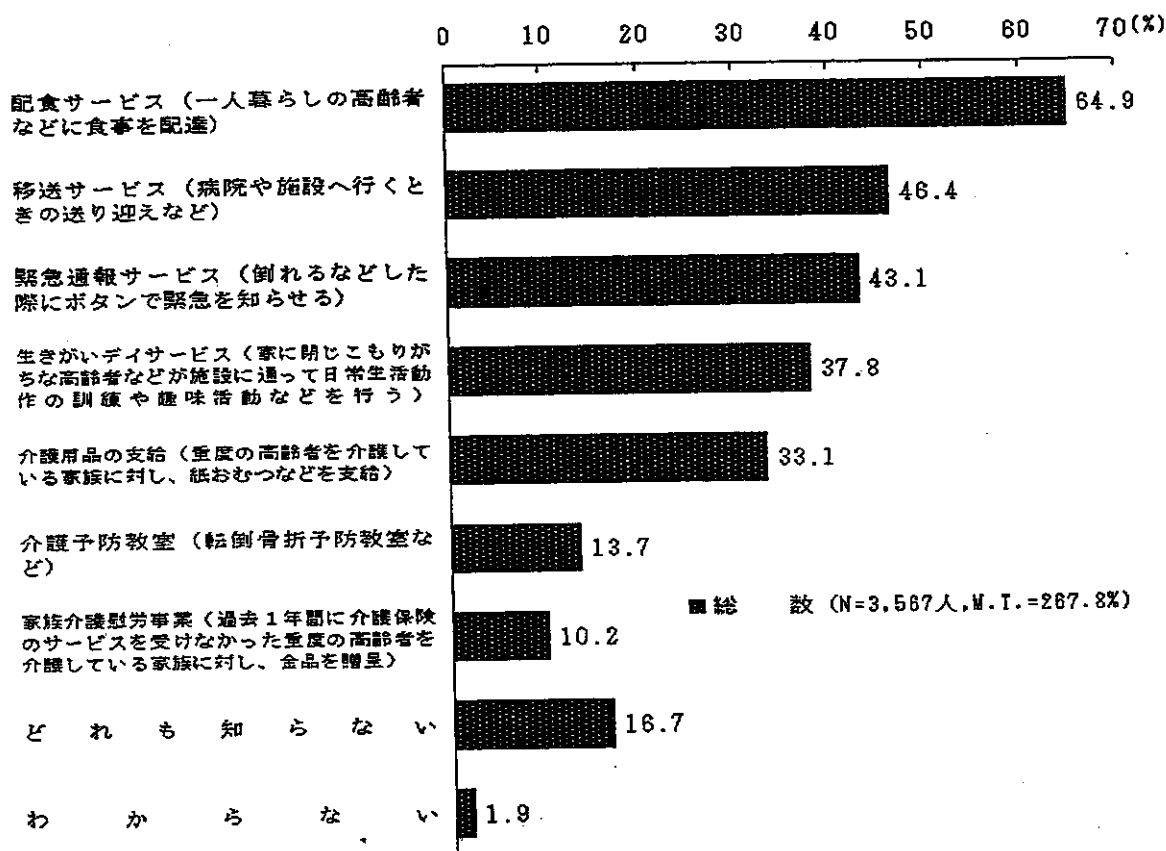
(3) 介護予防・地域支え合い事業の周知度（複数回答，上位4項目）

平成15年7月

- ・ 配食サービス（一人暮らしの高齢者などに食事を配達） 64.9%
- ・ 移送サービス（病院や施設へ行くときの送り迎えなど） 46.4%
- ・ 緊急通報サービス（倒れるなどした際にボタンで緊急を知らせる） 43.1%
- ・ 生きがいデイサービス（家に閉じこもりがちな高齢者などが施設に通って日常生活動作の訓練や趣味活動などを行う） 37.8%
- ・ どれも知らない 16.7%

図20 介護予防・地域支え合い事業の周知度

（複数回答）

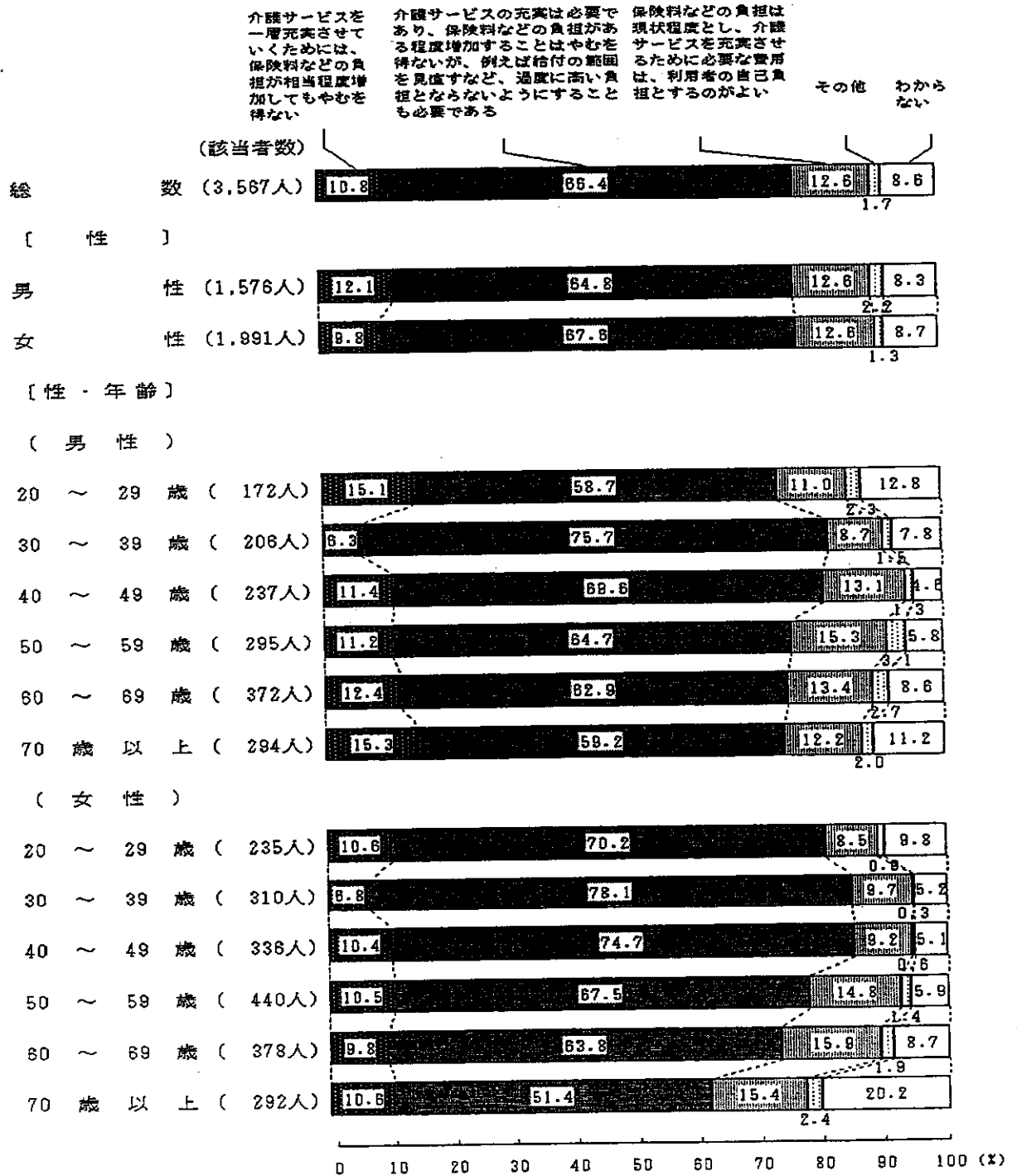


(4) 介護サービス充実の際の費用負担

平成15年7月

- ・介護サービスを一層充実させていくためには、保険料などの負担が相当程度増加してもやむを得ない 10.8%
- ・介護サービスの充実が必要であり、保険料などの負担がある程度増加することはやむを得ないが、例えば給付の範囲を見直すなど、過度に高い負担とならないようにすることも必要である 66.4%
- ・保険料などの負担は現状程度とし、介護サービスを充実させるために必要な費用は、利用者の自己負担とするのがよい 12.6%

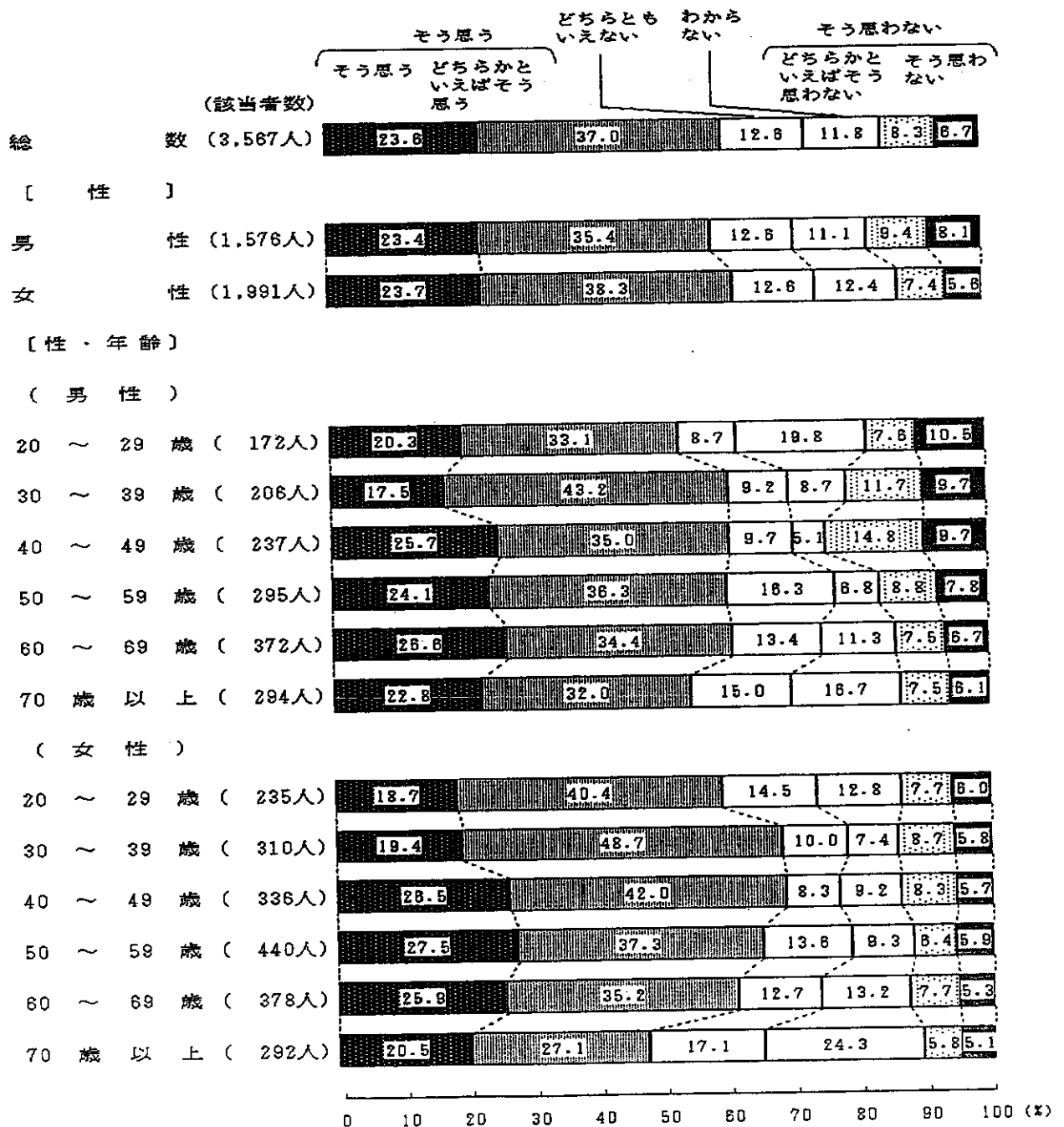
図21 介護サービス充実の際の費用負担



(5) 在宅と施設との負担の均衡（「施設サービスに割安感があることから、在宅サービスの利用者との負担の均衡を図るために、施設サービスにおける給付の範囲を見直すべきである」との意見があるが、どう思うか）

	平成15年7月
・ 思う	60.6%
思う	23.6%
どちらかといえば思う	37.0%
・ 思うわない	15.0%
どちらかといえば思うわない	8.3%
思うわない	6.7%
・ どちらともいえない	12.6%
・ わからない	11.8%

図22 在宅と施設との負担の均衡



4 高齢者保健福祉施策に対する要望について

(1) 要望する重点施策（複数回答，上位5項目）

	平成15年7月
・在宅介護のための，自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービス，訪問看護など）	60.5%
・特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設の整備	49.7%
・在宅介護のための，施設に通って受けるサービスの充実（ショートステイ，デイサービス，デイケアなど）	49.6%
・在宅で介護をする家族に対する支援の充実	46.3%
・病院や診療所などの医療機関の充実	45.4%

図23 要望する重点施策

(複数回答)

